

令和6年度事業報告

社会福祉法人 親心会

指定障害者支援施設 戸河内あすなろ園

グループホーム 大銀杏（共同生活援助）

安芸太田町ユニバーサルリビング やまゆり寮

近年、国においては知的・精神障害者の地域移行や地域連携を積極的に進められています。こうした流れを受けてか、最近の施設入所希望者は病院や他施設からの移行がほとんどで、元々の基本的利用者であった知的障害者から、どちらかという精神障害を合わせ持った人や広範性発達障害という新たな障害を抱えた利用者へシフトしつつあると言えます。

こうした傾向は、利用者同士のトラブルや無断外出の他、興奮による施設備品の破損や稀に職員に対する暴力行為等にもつながるなど、職員はこれまでの経験値を超えた専門性を要求される中で対応を重ねています。

一方、令和2年度から令和5年度までの約4年余りにわたり利用者も職員もその対策に振り回された新型コロナウイルス感染症は、令和6年度になりようやく終息を迎え、少しずつコロナ禍前の日常が戻りつつあります。

法人が運営する戸河内あすなろ園、グループホーム大銀杏とも複数の利用者が感染するクラスター（集団感染）を経験しましたが、幸い重症化する例はありませんでした。この間に培った様々な感染症対策の取組みは、職員はもちろんのこと利用者の感染症防止への自発的な意識醸成や具体的行動につながっていると思われますので、引き続き進めていきます。

一方で、ここ数年来続く原油等のエネルギー価格の高騰と食料品を中心とする物価高は、個人の家庭はもちろんのこと当法人のように大量の電力を消費し、また同時に食材を大量消費する入所施設の運営者にとっては、経営に直結する大変大きな負担増となっています。町において本年3月こうした物価高に対する緊急支援制度を実施されたことにより大幅な赤字は免れることができましたが、今後はこうした経済情勢の変動にも柔軟に対応できるよう法人の健全経営に注力を注いでいきます。

こうした中、令和6年10月に戸河内あすなろ園設立20周年を迎えることができました。10月13日、戸河内ふれあいセンター・メイプルホールにおいて多くの来賓を迎え、利用者とその家族、職員一同が会して記念式典を開催することが出来ました。改めて、これまでの20年の取組みを振り返る良い機会となりました。

このような世情と社会背景の中、社会福祉法人親心会及び戸河内あすなろ園は着実に地域に貢献していきたいと考えています。以下、戸河内あすなろ園を中心に令和6年度を振り返ります。

1. 施設運営

◇定員 施設入所支援 定員 50名

◇利用状況 入所利用者数 39名（令和7年3月31日現在）

日中活動 生活介護利用者 39名（うち長期入院者2名）

◇異動状況 入所者3名、退所者2名

2. 日中活動

日中活動は生活介護のみで、毎月活動日としては、(月の日数-8日) 22日~23日/月となっています。

◇生活介護の活動内容

- ・趣味的な活動 軽スポーツ、創作活動、手芸、塗り絵、清掃作業
- ・生産的な活動 農作業、清掃作業、草取り、草刈作業、廃棄物処理・選別作業、自動車部品製作作業、タオル折畳み作業、労務提供作業 など

地域の中で自立するためには、生産活動に継続的に従事していくことが重要な要素であり、今後も利用者の実態に応じた新しい作業の開拓・確保を進めていく必要があります。

利用者の高齢化等により生産活動に継続的に従事できる利用者が減少しています。従来就労継続支援事業として取り組んでいた作業で生活介護に移行できるものは、発注者と協議をしながら可能な限り継続していますが、特に地域や行政からも多くの要望があった刈払い機による休耕田等の草刈作業については、機械を操作できる利用者が2人に激減したため受託を中止し、他の就労継続支援B型事業所やシルバー人材センターを紹介するなどの対応を取っています。

3. 施設入所支援

主として施設の夜間の活動について支援(入浴、排せつ、食事などの介護、生活等に関する相談及び助言等)を行います。一時若年層の入所者増加により利用者の平均年齢が低下していましたが、令和5年度以降それらの若年層が相次いで退所したことで、現在ではまた平均年齢が高くなっています。(令和5年度末49.4歳⇒令和6年度末51.3歳)

入所期間の長い高齢者については、加齢などにより徐々に入浴、食事の介助が必要な利用者が増加しています。

◇サービス提供日 12月28日~1月3日を除く毎日(正月休みを除く年中無休)

◇入浴サービス日 週3日(月・水・金、火・木・土でグループ分け)

※夏季は作業後のシャワーも希望で実施

4. 年間行事

令和6年度の行事はコロナ禍からようやく開放されたこともあり、コロナ禍以前のような行動制限のないスムーズな実施ができました。

その結果は次のとおりです。

- ・4月9日(金) お花見(温井ダム) 利用者34名、職員11名
- ・6月中旬3回 ショッピングクラブ(緑井フジグラン) 利用者15名、職員8名
- ・6月16日(日) 温泉と神楽鑑賞(神楽門前湯治村) 利用者10名、職員5名
- ・6月19日(木) カラオケクラブ(安佐南区八木) 利用者3名、職員2名
- ・6月21日(金) 木下大サーカス(観音マリーナホップ)
- ・9月7日(土) ガーデンパーティー・音楽発表会 利用者37名、GH5名、職員19名
- ・10月13日(日) 戸河内あすなろ園設立20周年記念式典 利用者37名、GH5名、職員27名
- ・11月7日(金) 釣りクラブ(浜田市) 利用者5名、職員4名
- ・11月12日(火) 温泉と演劇鑑賞(安佐北区ゆーぽっぽ) 利用者9名、職員4名

- ・ 11 月 14 日(木) カラオケクラブ(安佐南区) 利用者 9 名, 職員 3 名
- ・ 11 月 16 日(土) 女子サッカー観戦(ピースウイング広島) 利用者 2 名, 職員 3 名
- ・ 11 月中旬 2 回 ショッピングクラブ(祇園イオンモール) 利用者 12 名, 職員 6 名
- ・ 12 月 21 日(土) クリスマス会 利用者 36 名, GH5 名, 職員 16 名
- ・ 12 月 31 日(土) 忘年会(娯楽室) 在園者参加
- ・ 1 月 2 日(月) 新年会(娯楽室) 在園者参加
- ・ 1 月 4 日(水) 初詣(長尾神社参拝) 希望利用者 16 名, 職員 4 名
- ・ 1 月 11 日(土) あすなろ園とんど 利用者 38 名, GH5 名, 職員 15 名

5. 施設の防災対策

全国各地で集中豪雨や台風などによる土砂災害や河川の氾濫が多発しており、多くの福祉施設も被災する事例が多発しています。このため、当法人では令和 2 年に「非常災害対策計画」を、「太田川氾濫時の避難確保計画」を策定しています。

今のところ想定される災害は河川氾濫のみとし、時間経過とともに危険度が徐々に高まる河川氾濫の特性から、施設の上流約 1 km にある土居観測の水位を基準とした洪水予報に基づき、「氾濫危険水位」の到達で発表される「氾濫危険情報」で避難行動を開始することとします。

早めの避難行動は心がけますが、大勢の障害を抱える利用者を何度も空振り避難させることは避けなければならない、的確な避難行動につながるよう情報収集能力の向上を図るだけでなく、町役場や消防団等関係機関との連携強化を今後とも図っていきます。

昨年も 9 月 7 日(土)と本年 3 月 22 日(土)の 2 回、避難確保計画や消防計画に基づき戸河内あすなろ園とグループホーム大銀杏で避難・消火訓練を実施しました。

6. 虐待防止について

施設における虐待の原因として、施設自体が閉鎖された空間で外部の目が届かないため職員の自己判断で処遇する場合があります。

利用者の人権を守り、また職員の働きやすい労働環境を確保するために、虐待防止については施設として重要な課題として取り組んでいます。

障害者虐待防止法が改正され、令和 4 年 4 月からは当園のような障害者支援施設においては、虐待防止委員会を設置することが義務付けられましたが、以来最低年 2 回は虐待防止委員会を確実に開催して、職員研修を兼ね意見交換を重ねています。

今後ともこうした取組みを継続し、職員による利用者の虐待防止と権利擁護を強化していきます。

7. 職員の処遇改善と資質向上について

本年 3 月末現在、戸河内あすなろ園とグループホーム大銀杏を合わせ 37 名の職員がいます。内訳は、正規職員 21 名、非正規職員 16 名です。このうち、利用者に直接関わるいわゆる直接処遇の正規職員は 14 名となっています。

正規職員の平均賃金は、処遇改善対策の取組みにより、目標であった年収 300 万円を達成できましたが、まだ他業種に比するとまだ低位にあります。

国においては、福祉・介護職員に対する処遇改善対策を積極的に進めていますが、ここ数年の民間企業における賃金の伸び率からすると格差は開いていると思われますが、今後も、引き続きこうした給与をはじめとする勤務労働条件の改善を図ることで、優秀な介護人材の確保と流出防止を図っていきたいと考えています。

8. グループホーム大銀杏（共同生活援助）の運営について

主として施設の夜間の活動について支援を行っています（あすなろ園施設入所に同じ）。

◇利用定員 7名

◇利用状況 5名（男性2名、女性3名）【令和7年3月31日現在】

◇入所条件 原則就労先が必要。

◇就労状況 就労継続A型事業（3名）、就労継続B型事業（2名）

◇食事提供 土・日曜日も含め朝食と夕食は世話人において。以外は利用者自身で。

◇洗濯掃除 平日は世話人において実施。土・日は利用者自身で。

◇生活支援 生活支援員により平日の毎日 15:00～20:00

9. 安芸太田町ユニバーサルリビング（公益事業）の運営について

安芸太田町の指定管理施設であるユニバーサルリビング・やまゆり寮については、令和7年度3月末では定員9名に対し6名が入所されています。

近年は冬季（12月～翌年3月）のみの利用が増え、令和6年度は2名の方が冬季利用されました。

利用者の平均年齢は約86歳で、自立した生活力の低下とともに、認知機能の衰えが新たな課題になっている利用者もおられます。この点について本人はもちろん、ご家族や担当のケアマネージャーと必要に応じて協議を進めています。

平成18年の完成後20年近くが経過しますので、少しずつ経年劣化による修繕が必要な部分が出てきていますが、設置者である安芸太田町と協議しながら必要な設備修繕や備品類の更新・購入等に取り組んでいます。